
Winter Song ~二度と忘れない~

でいじー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Winter Song ~一度と忘れない~

【ΖΖコード】

N2126Y

【作者名】

でいじー

【あらすじ】

高校最後の冬で龍次が体験した恋物語。

こんな想い

おそらくもう一度と味わうことはないだろ？。

人生最大の恋の戦いが

始まりはじめる。

始まりのはじまり

人の一生は短い

そして僕く脆い

そんな短い人生で

僕が出会った恋物語

高校3年生の冬

二度と忘れない

一生に一度の

恋のうた

「なあ龍次、なんかバイト決まってるん?」

いつものようにカネが話しかけてきた。

もちろんカネとはお金のことではない。

カネは金井から取つたあだ名である。

カネは住んでいる地域は違うが僕の数少ない親友の一人で、みんなの信頼も厚く人気者の奴だ。

ちなみに僕は家から20キロくらい離れたところから電車で通学している。

カネからいえばこの高校はいわば地元なのである。

「バイトか。そろそろ見つけとかないとダメだよなあ。」

僕はバスケット部に三年間所属し、総体も終わり大学も普通の私立大学に進学が決まった。そんな僕はダラダラと残りの高校生活を過ごしていた。

進学が決まった高校生の最後の冬なんで、バイトでもしてなければ暇すぎて大変なのだ。（少なくとも自分は）

そんな時、ふと頭に浮かんだのは同じクラスで地元友達の女の子、佐藤ゆきの名前だった。

ゆきという名前だがそんなかわいらしい子ではない。顔は普通だがちょっと男勝りな性格で、少し不良気取りの女の子だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2126y/>

Winter Song ~二度と忘れない~

2011年11月4日16時19分発行